

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をさがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディボーションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2025.8.18-24

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

18日 月曜

エゼキエル



19:1 「あなたはイスラエルの君主たちのためにこの哀歌を唱えよ。
19:2 あなたの母は何であったのか。雌獅子だ。彼女は雄獅子の間に伏し、若い獅子の間で子獅子を養った。
19:3 雌獅子は子獅子のうちの一頭を取り上げた。それは若い獅子となり、獲物をかみ裂くことを習い、人を食い滅ぼすようになった。
19:4 諸国の民はその獅子のうわさを聞いた。その獅子は落とし穴で捕らえられた。彼らはこれに鉤をつけ、エジプトの地へ引いて行った。
19:5 雌獅子は待ちくたびれて、自分の望みが消え失せたことを知ったとき、子獅子のうちのほかの一頭を取り、若い獅子と定めた。
19:6 これも雄獅子の間を歩き回り、若い獅子となって、獲物をかみ裂くことを習い、人を食い滅ぼすようになった。
19:7 この獅子は、やもめたちを犯し、町々を廃墟とした。その吼える声のために、地とそこに満ちているものは、おののいた。
19:8 そこで、諸国の民は周りの州から攻め上り、その獅子に彼らの網を打ちかけた。その獅子は彼らの落とし穴で捕らえられた。
19:9 彼らはそれに鉤をかけて檻に入れ、バビロンの王のもとに引いて行った。彼らはそれを砦に閉じ込め、二度とその声がイスラエルの山々に聞こえないようにした。
19:10 あなたの母は、水のほとりに植えられた、あなたのぶどう園のぶどうの木のようにだった。水が豊かなために実りが良く、枝も茂った。
19:11 その強い枝は王の杖となり、その背丈

は茂みの中でひととき高く、多くの小枝をつけて、際立って見えた。
19:12 しかし、激しい憤りをもってそれは引き抜かれ、地に投げ捨てられ、東風はその実を枯らした。その強い枝も折られて枯れ、火がそれを焼き尽くした。
19:13 今や、それは荒野に、乾いた、潤いのない地に移し植えられ、
19:14 火がその枝から出て、その若枝と実を焼き尽くした。もう、それには王の杖となる強い枝がなくなった。」これは悲しみの歌、哀歌となった。

ユダ王国の最後期の3人の王にを雌獅子にたとえています。エジプトに引いて行かれたエホアハズ、バビロンに引いて行かれたエホヤキン、そしてバビロニアに攻められ落とし穴で捕らえられたゼデキヤです。

エゼキエルは神様のみこころを預かり表す預言者でしたから、この嘆きのことはそのまま神様の嘆きでもあります。主は罪とその結果を嘆かれるのです。決して喜んで裁かれるものではありません。

私たちは永遠の滅びというさばきは、イエス様の十字架とそれを信じる信仰によって、免れはしますが、しかしこの世にあって罪を犯すときには、主の嘆きを感じるものでありましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 19日 火曜

エゼキエル



20:1 第七年の第五の月の十日、イスラエルの長老たちの何人かが、【主】に尋ねるために来て、私の前に座った。

20:2 そのとき、私に次のような【主】のことがあった。

20:3 「人の子よ、イスラエルの長老たちにこう告げよ。『【神】である主はこう言われる。あなたがたが来たのは、わたしに尋ねるためなのか。わたしは生きている。わたしは決してあなたがたの求めに応じない——【神】である主のことば。』

20:4 あなたは彼らをさばくのか。人の子よ、あなたはさばくのか。彼らの先祖たちの、忌み嫌うべきわざを彼らに告げ知らせよ。

20:5 彼らに言え。『【神】である主はこう言われる。わたしがイスラエルを選んだとき、わたしはヤコブの家の子孫に誓い、エジプトの地でわたしを彼らに知らせた。彼らに誓って、わたしがあなたがたの神、【主】であると言った。

20:6 その日、わたしは彼らをエジプトの地から導き出して、わたしが彼らのために探しておいた乳と蜜の流れる地、どの地よりも麗しい地に入れることを彼らに誓った。

20:7 わたしは彼らに言った。「それぞれ、その目の慕う忌まわしいものを投げ捨てよ。エジプトの偶像で身を汚すな。わたしがあなたがたの神、【主】である」と。

20:8 しかし、彼らはわたしに逆らい、わたしに聞き従おうとはしなかった。それぞれ、その目の慕う忌まわしいものを投げ捨てず、エジプトの偶像を捨てなかった。そこでわたしは、エジプトの地のただ中でわたしの憤りを

彼らの上に注ぎ、彼らにわたしの怒りを出し尽くそうと思った。

20:9 しかし、わたしはわたしの名のことを思い、彼らが住んでいる国々の目の前でわたしの名が汚されないようにした。国々の目の前で彼らをエジプトの地から導き出す、と知らせていたからだ。

20:3 「人の子よ、イスラエルの長老たちにこう告げよ。『【神】である主はこう言われる。あなたがたが来たのは、わたしに尋ねるためなのか。わたしは生きている。わたしは決してあなたがたの求めに応じない——【神】である主のことば。』とあります。長老たちは主に尋ねる気があるのかとそこが問題にされています。それで主は求めに応じないと明言なさいます。

主はご自身に聞こうとしない者の求めは聞いてくださらないということです。主に尋ね、そして答えをいただき、従いましょう。自分勝手に従わないただでいて、ただ恵みばかり求めて、それで応えられないことを主のせいにするものがないようにしましょう。

主に従わなかったことの一つは、エジプトを出た時に持っていた偶像です。せっかく死の地から救われたのに、神以外のものを拝み頼りにしていたのです。私たちもそのようなことのないように、ただ神様だけを頼りとしましょう。それが正しい信仰です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



20日 水曜

エゼキエル



20:10 こうしてわたしは、エジプトの地から彼らを導き出し、荒野に導き入れ、
20:11 わたしの掟を彼らに与え、わたしの定めを告げ知らせた。人は、それらを行うなら、それらによって生きるからである。
20:12 わたしはまた、彼らにわたしの安息日を与えて、わたしと彼らとの間のしるしとし、わたしが彼らを聖なる者とする【主】であることを、彼らが知るようにした。
20:13 しかし、イスラエルの家は荒野でわたしに逆らった。彼らはわたしの掟に従って歩まず、わたしの定めを忌み嫌った。人は、それらを行うなら、それらによって生きるのに。さらに、彼らはわたしの安息日を甚だしく汚した。そこでわたしは、荒野でわたしの憤りを彼らの上に注ぎ、彼らを絶ち滅ぼそうと考えた。
20:14 しかし、わたしはわたしの名のことを思い、彼らを導き出すのを見ていた国々の目の前で、わたしの名が汚されないようにした。
20:15 だがわたしは、わたしが与えた、乳と蜜の流れる地、どの地よりも麗しい地に、彼らを導き入れない、と荒野で彼らに誓った。
20:16 それは、彼らがわたしの定めを忌み嫌い、わたしの掟に歩まず、わたしの安息日を汚したからだ。それほど彼らの心は偶像を慕っていた。
20:17 それでも、わたしは彼らをあわれんで滅ぼさず、荒野で彼らを滅ぼし尽くさなかった。
20:18 わたしは荒野で彼らの子どもたちに言った。「あなたがたの父たちの掟に従って歩むな。彼らの慣わしを守るな。彼らの偶像

で身を汚すな。

20:19 わたしがあなたがたの神、【主】である。わたしの掟に従って歩み、わたしの定めを守り行え。

20:20 また、わたしの安息日を聖なるものとせよ。これをわたしとあなたがたとの間のしるしとし、わたしがあなたがたの神、

【主】であることを知れ」と。

20:21 しかし、子どもたちはわたしに逆らった。彼らはわたしの掟に従って歩まず、わたしの定めを忌み嫌った。人は、それらを行うなら、それらによって生きるのに。さらに、彼らはわたしの安息日を汚した。そこで、わたしは、荒野でわたしの憤りを彼らの上に注ぎ、彼らにわたしの怒りを出し尽くそうと思った。

20:22 しかし、わたしは手を引いた。わたしの名のことを思い、彼らを導き出すのを見ていた国々の目の前で、わたしの名が汚されないようにした。

20:23 だがわたしは、彼らを諸国の間に散らし、国々に追い散らす、と荒野で彼らに誓った。

20:24 彼らがわたしの定めを行わず、わたしの掟を忌み嫌い、わたしの安息日を汚し、彼らの心が父たちの偶像を慕ったからである。

20:25 わたしもまた、良くない掟と、それによって生きられない定めを彼らに与えた。

20:26 彼らがすべての初子に火の中を通らせたとき、わたしはそのささげ物を彼らに汚した。それは、わたしが彼らを滅ぼすため、わたしが【主】であることを彼らが知るためである。』

次に神様に従わなかった事例は、荒野での逆らいです。主の定めを嫌い、特に安息日を汚したのです。安息日とは、誰に従っているかの証しです。仕事も、人間関係の大切ですが、それらよりも神様が上なのか下なのかを表れるのです。

安息日に神様の代わりに何かを慕うことのないように、神様を第一としましょう。それは命令であるとともに、大いなる祝福への約束でもあるのですから。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



21日 木曜

エゼキエル



20:27 それゆえ、人の子よ、イスラエルの家にこう告げよ。『【神】である主はこう言われる。あなたがたの先祖は次のことにおいても、わたしの信頼を裏切ることにより、わたしを冒涇している。

20:28 わたしが、彼らに与えると誓った地に彼らを連れて行くと、彼らは高い丘や茂った木を見て、どこででもいけにえを献げた。彼らはそこで主の怒りを引き起こすささげ物を献げ、そこで芳ばしい香りを供え、そこで注ぎのぶどう酒を注いだ。

20:29 それで、わたしは彼らに言った。「あなたがたが通う高き所とは何なのか」と。今日でもその名はバマと呼ばれている。』

20:30 それゆえ、イスラエルの家に言え。

『【神】である主はこう言われる。あなたがたは父たちの生き方をまねて自分自身を汚し、彼らの忌まわしいものを慕って姦淫を犯そうとするのか。

20:31 しかも、ささげ物を供え、幼子に火の中を通らせて、今日まであらゆる偶像で身を汚してきた。イスラエルの家よ。わたしはどうして、あなたがたの求めに応じられるだろうか。わたしは生きている——【神】である主のことば——。わたしは決してあなたがたの求めに応じない。

20:32 あなたがたが、「私たちは、木や石を拝んでいる異邦の民、国々の諸族のようになろう」と言っている、その霊の思いは決して実現しない。

主が「与えると誓った」約束の地での反逆について告発されています。神様が与えてくださった祝福の生活においてさえ、彼らは主に従わずに、勝

手な信仰形態で礼拝しました。それは主ご自身を礼拝するにも関わらず、自分の都合や理解でやってしまったのです。

クリスチャンも祝福を受けながら、それに慣れっこになってしまう危険性があります。自分の長年の信仰経験から、主に聞かず、主に従わず自分流にやっていることはないでしょうか。考えてみることも重要です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



22日 金曜

エゼキエル



20:33 わたしは生きている——【神】である主のことば——。わたしは必ず、力強い手と伸ばした腕、ほとばしる憤りをもって、あなたがたを治める。

20:34 わたしは、力強い手と伸ばした腕、ほとばしる憤りをもって、あなたがたを諸国の民の中から導き出し、その散らされている国々からあなたがたを集める。

20:35 わたしはあなたがたを国々の民の荒野に連れて行き、そこで顔と顔を合わせて、あなたがたをさばく。

20:36 わたしは、あなたがたの先祖をエジプトの地の荒野でさばいたように、あなたがたをさばく——【神】である主のことば——。

20:37 わたしはまた、あなたがたにむちの下を通らせ、あなたがたを契約のくびきの下に連れて行き、

20:38 あなたがたの中から、わたしに背く反逆者をより分ける。わたしは彼らをその寄留している地から導き出すが、彼らはイスラエルの地に入ることはできない。そのときあなたがたは、わたしが【主】であることを知る。

20:39 さあ、イスラエルの家よ、【神】である主はこう言われる。それぞれ自分の偶像のところにやって仕えるがよい。後には必ず、あなたがたはわたしに聞くようになる。あなたがたは二度と、自分たちのささげ物や偶像で、わたしの聖なる名を汚さなくなる。

20:40 わたしの聖なる山、イスラエルの高い山の上で——【神】である主のことば——そこで、この地にいるイスラエルの全家、そのすべてがわたしに仕えるからだ。そこで、わたしは彼らを喜んで受け入れ、そこで、あな

たがたのすべての聖なるものととも、あなたがたの奉納物と最上のささげ物を求める。

20:41 わたしが諸国の民の中からあなたがたを導き出し、その散らされている国々からあなたがたを集めるとき、わたしは、あなたがたを芳ばしい香りとともに喜んで受け入れる。こうしてわたしは、国々の民が見ている前で、あなたがたのうちに、わたしが聖であることを示す。

20:42 わたしが、あなたがたの父祖たちに与えたと誓った地、イスラエルの地にあなたがたを導き入れるとき、あなたがたは、わたしが【主】であることを知る。

20:43 あなたがたはそこで、自分の身を汚した自分たちの生き方と、すべての行いを思い起こし、自分たちの行ったすべての悪のゆえに、自分自身を嫌うようになる。

20:44 わたしが、あなたがたの悪しき生き方や、腐敗した行いによってでなく、ただわたしの名のためにあなたがたに報いるとき、イスラエルの家よ、あなたがたはわたしが【主】であることを知る——【神】である主のことば。』」

20:45 さらに、私に次のような【主】のことばがあった。

20:46 「人の子よ。顔を右の方に向け、南に向かって語りかけ、ネゲブの野の森に向かって預言し、

20:47 ネゲブの森に言え。『【主】のことばを聞け。【神】である主はこう言われる。見よ、わたしはおまえのうちに火をつける。その火はおまえのうちの、すべての生木とすべての枯れ木を焼き尽くす。その燃える炎は消されず、南から北まで地の面すべて

が焼かれる。

20:48 そのとき、すべての肉なる者は、【主】であるわたしが燃やしたのを見る。その火は消えることがない。』」

20:49 そのとき、私は叫んだ。「ああ、【神】、主よ。彼らは私について、『彼は、たとえを言っているだけではないか』と言っています。』

捕囚の地でささきについて書かれています。主はただ怒りの神ではありません。イスラエルをまた約束の地に返してください、そのときにイスラエルは「わたしが主であることを知る」と言われます。

主が愛の神様であることのゆえに恐れましょう。愛の神様であることのゆえに信頼して、喜んで従いますよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



23日 土曜

エゼキエル



21:1 次のような【主】のことばが私にあった。
21:2 「人の子よ。エルサレムに顔を向け、聖所に向かって語りかけよ。イスラエルの地に向かって預言せよ。
21:3 イスラエルの地に言え。『【主】はこう言われる。今、わたしはおまえを敵とする。わたしは剣をさやから抜き、おまえのうちの、正しい者も悪い者も絶ち滅ぼす。
21:4 おまえのうちの、正しい者も悪い者も絶ち滅ぼすため、わたしの剣はさやを離れ、南から北まですべての肉なる者を敵とする。
21:5 このとき、すべての肉なる者は、【主】であるわたしが剣をさやから抜いたことを知る。剣は二度とさやに収められることはない。』
21:6 人の子よ、あなたは、うめけ。彼らが見ているところで、腰が砕けるほど激しくうめけ。
21:7 彼らがあなたに、『何のために、あなたはうめくのか』と言うなら、そのとき、あなたは言え。『この知らせのためだ。それが来ると、すべての者は心が萎え、すべての手は力無く垂れ下がり、みな意気消沈し、どの膝も震える。今、それが来る。それは実現する——【神】である主のことば。』
21:8 次のような【主】のことばが私にあった。
21:9 「人の子よ、預言せよ。『主はこう言われる。剣、一振りの剣が研がれ、磨かれている。
21:10 虐殺のために研がれ、稲妻のようにそれは磨かれた。それとも、われわれは喜ぶべきか。すべての木を退ける、わが子の杖を。

21:11 その剣は磨かれて手に握られ、研がれ、磨かれて殺す者の手に渡される。』
21:12 人の子よ、うめけ。泣き叫べ。それがわたしの民の上により、イスラエルのすべての君主たちに下るからだ。彼らはわたしの民とともに剣に投げ込まれる。だから、あなたはももを打って嘆け。
21:13 試みのとき、退ける杖さえなかったら、どうなるか——【神】である主のことば。
21:14 人の子よ、あなたは預言せよ。手を打ち鳴らせ。剣を二倍、三倍にして、人を刺し殺す剣とし、彼らを貫く大いなる殺戮の剣とせよ。
21:15 それは、彼らの心が震えおののいて、つまずき倒れる者が増えるようにするためだ。わたしは彼らのすべての門に、殺戮の剣を置く。ああ、剣は稲妻のようにされ、屠るために磨かれる。
21:16 剣は顔を右に向け、左に向けて切りまくれ。おまえの顔の向くところを。
21:17 わたしもまた、手を打ち鳴らし、わたしの憤りを収める。【主】であるわたしが語るのだ。」

神様のさばきの剣がイスラエルに向かおうという様子が記されています。神様はどのように警告を与えておられますが、それはイスラエルを愛するゆえです。

主の愛として、警告を受けましょう。私たちの将来に関して、何が良いことであり主の御心になうのかをしっかりと考えましょう。もしも御心と違うことをしていたなら、主からの警告を今受けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



24日 日曜

エゼキエル



21:18 次のような【主】のことばが私にあった。

21:19 「人の子よ。あなたは、バビロンの王の剣が来るように、二つの道を備えよ。その二つの道はともに一つの国から出るようにし、町に向かう道の始まりにそれぞれの道しるべを刻みつけよ。

21:20 剣が、アンモン人のラバ、あるいはユダ、すなわち城壁のあるエルサレムに行くように、道を備えよ。

21:21 バビロンの王は道の分かれ目、その二つの道の始まりに立って占いをする。彼は矢を振り混ぜ、テラフィムに伺いを立てて、肝を調べる。

21:22 彼の右の手に、エルサレムについての占いが現れる。それは、彼が城壁崩しを配置し、口を開いて叫び、ときの声をあげて、城壁崩しを門に向かわせ、壘を築き、包囲壁を設けるというものである。

21:23 しかしこれは、厳かな誓いをしているエルサレムの民の目には、むなしい占いと映る。だが、バビロンの王は彼らに自分たちの咎を思い起こさせることになり、こうして彼らは捕らえられる。

21:24 それゆえ、【神】である主はこう言われる。あなたがたの背きはあらわにされ、あなたがたのすべての行いに罪が現れて、あなたがたの咎がわたしに思い起こされる。あなたがた自身が思い起こされるゆえに、あなたがたは彼らの手に捕らえられるのだ。

21:25 汚れた悪者、イスラエルの君主よ。あなたの日、最後の刑罰の時が来た。

21:26 【神】である主はこう言われる。かぶ

り物を取り、冠を外せ。すべてがすっかり変わる。低い者を高くし、高い者を低くせよ。

21:27 荒廃だ。荒廃だ。廃墟をわたしはもたらず。これは、さばきを執行する者が来て、わたしがさばきの権威を授けるまで、起こったことのないような出来事だ。

21:28 人の子よ、あなたは預言せよ。こう言え。『【神】である主は、アンモン人と彼らのそしりについてこう言う。剣、一振りの剣が、虐殺のために抜き放たれた。絶ち滅ぼすために、稲妻のように研ぎ澄まされて。

21:29 おまえのためにむなしい幻があり、おまえのためにまやかしの占いがなされても、その剣は汚れた悪者どもの首に当てられ、彼らの日、最後の刑罰の時が来る。

21:30 剣をさやに収めよ。おまえが創造された場所、おまえの出身地で、わたしはおまえをさばく。

21:31 わたしはおまえの上にわたしの憤りを注ぎ、激しい怒りの火を吹きつけ、滅ぼすことにたけた残忍な者たちの手に、おまえを渡す。

21:32 おまえは火の薪となり、おまえの血はその国の中で流され、おまえはもう思い出されることはない。【主】であるわたしが語ったからだ。』」

バビロンの王が攻めてくることの預言です。これはまさに成就しました。神様の警告を悔むことはできません。これらの出来事は主の御心に従わなかったゆえの結果です。

私たちが主に従っていないことはないでしょうか。不信仰から来る結果は必ず起こると肝に銘じま

しょう。また逆に主に従ったときに祝福は必ずあると信じましょう。それゆえに喜んで従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

